

館林市総合計画審議会 答申 議事録【概要】

日時

令和2年9月23日（水）午後1時30分から午後1時55分まで

場所

館林市役所3階 政策審議室

出席者

【審議会委員】3名

角田好二会長 森静子副会長 三田英彦副会長

【策定委員会委員】2名

市長 教育長

【事務局】7名

政策企画部長 企画課長 政策推進係長 政策推進係職員4名

1 答申内容 【PDF：次第（答申）】

(1) 開会

(2) 答申

① 答申書の朗読【PDF：答申書】

角田会長が答申書総論を朗読。

② 写真撮影

(3) 市長あいさつ

角田会長には昨年の11月28日を皮切りに諮問させていただき、会を取りまとめいただいたこと、厚く御礼申し上げます。計画を生むにあたり10か月余りの期間、それぞれの委員の皆様がたいへん熱心に議論いただいたが、たいへんな難産であったとも感じていた。しかしその分、この答申書をじっくりと読ませていただきながら、今後の総合計画や実施計画などに役立てていきたいと考えている。

また、森副会長、三田副会長には、角田会長を支え、補佐していただき、会の運営を円滑に行っていただいたことに、心から感謝を申しあげる。お二方ともたいへんな知見をお持ちで、この総合計画に対して、グレードの高い答申をいただいたと思って

いる。

諮問させていただいた段階では素案であったが、先ほど答申書の内容を聞かせていただいたところ、シビアなご意見もたくさん詰まっているが、全体的に非常にハイレベルな答申書になっていると実感をしている。それだけ審議会の皆さんが、真剣に議論していただき、活発に討論していただいた、その賜物であると感じている。

これからもいただいた私たちの方で、しっかりとしたものに磨き上げ、パブリックコメントで市民の皆様にもご意見をいただき、将来都市像を含む基本構想については、議会に上程することになる。そうしたプロセスを経て、来年度からスタートする5年、10年で、しっかりとした計画により、よりよい館林を作っていきたいと考えているので、引き続きご指導ご鞭撻をお願いしたい。

総合計画の作り方についても、昨今いろいろな手法があると思っている。行政主導で諮問して作る方法もあり、一方で当初から有識者のかたに入っただき総合計画を作り上げていくという方法もある。行政計画でなく、より広く有識者や市民が参画する中で作っていく総合計画も、今後は大事なことであり、より公共性の高いものにしていくことも大切なことだと思う。

ご指導いただいた内容は今後よく検討させていただきたいと思う。立派な答申書をいただき、心から感謝申し上げます。ご労苦に対しても厚く御礼申し上げます。

(4) 閉会